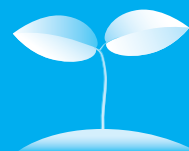


育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「恩原高原の小さな命」

私が勤務している上齋原小には、廊下の壁面に蝶の写真パネルが飾ってある。最初見たときには、さほど気にも留めなかった私だが、昨年度高学年を担当し、子供たちと共に講師の方からこの蝶についての学習をした。

その蝶の名前は、「ウスイロヒヨウモンモドキ」。二〇〇〇年、環境庁のレッドリスト絶滅危惧種一類に認定されている貴重な蝶で、日本全国でも四県七か所しか生息地がないと言われている。その貴重な生息地の一つが、この上齋原であることを知った。

しかも興味深いのは、この蝶が人間の営みの中で生き続けてきたということである。今はスキー場などになっている恩原の草原も、かつては牧草地として人々が草刈りをし、草原を守り続けていたということだ。ウスイロヒヨウモンモドキは、そのようにして刈り取られた背の高いスキヤカヤの下に生えるオミナエシやカノコソウ

という植物を食草としていたのである。つまり、草原があっても人々が手入れをしなければ、ウスイロヒヨウモンモドキが好むオミナエシやカノコソウは生えてこないというのである。そして、時代が変わり、人々のくらしが変わっていく中でウスイロヒヨウモンモドキは、各地の草原から次々と姿を消してしまったというのだ。そのウスイロヒヨウモンモドキが、上齋原では、地域の人々の保護活動(定期的な草刈り等)のおかげで生き続けている。

地球環境や人間生活が大きく変わっていく中、私たちがどう自然と向き合い、関わり合っていけばよいのかを考えさせられるきっかけになるとともに、この小さな蝶の保護に努める上齋原の人々の情熱に触れ、心温まる思いがした。もうすぐ七月。今年も恩原の草原では、ウスイロヒヨウモンモドキの成虫が可憐に飛び回る姿が見られるはずである。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
上齋原小学校 内田 祥二

のびのびひろば

～遠足、楽しいな♪～

(大野保育園)

ちょっと足をのびして、保育園の近くにある神社やお寺、山へ遠足に行きました!

4月からちょっぴりお兄さん・お姉さんになった子どもたち! 小さな子のお世話もはりきっています



女山に登ったよ!
(4・5歳児)



大野神社にお参りしたよ!
(3・4・5歳児)



そお〜っと
そお〜っと
ふうう〜



げんきに おおきく
なりますように〜



吉祥寺へ
(0・1・2歳児)